

診断結果レポート（保存版）

あなたのお子さんの
現在もっとも戻りやすい通常モードは

守りモードです



モードに「良い・悪い」はありません。

どのモードにも、心や行動を守る大切な役割があります。

ただし、モードによって学びの進みやすさには違いがあります。

そして、これらには成績が伸びやすくなる“流れ”があります。

学びが進みやすいモードの流れ

学びが
進みやすい



学びが
進みにくい



現在の
モード



挑戦モード

やってみよう！
と前に進む力が高まる



整理モード

考えを整理し、理解して進める



安心モード

落ち着いて、取り組める土台が整う



比較モード

周囲が気になり、焦りやすくなる



守りモード

失敗を避け、心を守ろうとする



閉じモード

エネルギーを守るため、
止まりやすくなる



ポイント

多くの場合、安心 → 整理 → 挑戦 の流れで、
学びは進みやすくなります。

6つのモード一覧表

それぞれのモードの特徴と、家庭で整えたい方向をまとめました。
お子さんの理解とサポートの参考にしてください。

モード	本来の役割	プラスに働く面	行き過ぎると…	家庭で整えたい方向
 挑戦 モード	前に進み 成長する	・難しいことに向かう ・工夫する ・やり直せる	無理しすぎる 突っ走る	結果よりプロセスの 努力を認める
 整理 モード	情報を整理して 理解する	・確認する ・分析する ・順番に考える	考えすぎる 慎重になりすぎる	急がせず 整理する時間を作る
 安心 モード	心と状態を 安定させる	・落ち着く ・受け入れる ・自然に続ける	変化を 避けやすい	否定より理解を 先にする
 比較 モード	自分の位置を 知り、成長に つなげる	・刺激を受ける ・改善点に気づく ・向上心が出る	周囲が気になる 勝ち負けに敏感 になる	他人比較より 成長比較を増やす
 守り モード	心を傷つきから 守る	・危険を避ける ・慎重になる ・無理を止める	言い訳 隠す 避ける 怒る	安心して失敗できる 雰囲気を増やす
 閉じ モード	エネルギーを 守り、回復する	・休む ・刺激を減らす ・消耗を止める	黙り込む 止まる やらなくなる	小さな成功体験を 増やす

大切なこと

どのモードも、お子さんが自分を守り、成長していくために必要な働きです。
中でも「安心→整理→挑戦」の流れをつくるのが、学びを進めるカギになります。

お子さんへのサポートポイント

あなたのお子さんの現在の状態は【**守りモード**】が中心です。
安心できる環境をつくることで、次のステップに進みやすくなります。

今の状態で起きやすいこと



- 失敗や注意を避けようとする
- 言い訳をしたり、気持ちを隠したりしやすい
- 言われると強く反発したり、怒りにつながる
- 隠す・避けることで、自分を守っている

家庭でできるサポート（おすすめ3つ）

1 安心できる関わりをふやす

否定や急かしを減らし、「味方であるよ」という姿勢を伝える。
小さなことでも「ありがとう」「助かったよ」と肯定を増やす。



2 少しずつ、できた体験をつくる

小さな成功体験が、守りの強さを弱めていきます。
ハードルを下げて、達成できることを一緒に見つける。



3 回復の時間を尊重する

疲れているとき、ダメージを受けたときは「閉じモード」になるのは自然なこと。休む時間を確保することが大切。



次の一步の目安



安心
モード



整理
モード



挑戦
モード

安心が増えると、整理しやすくなり、自然に挑戦につながります。



焦らなくて大丈夫です。お子さんのペースで、少しずつ変わっていきます。
あなたの関わりが、一番のサポートになります。